

はじまりのいのちの物語

むらかみよしこ タペストリー展



お母さんの羊水は 海の水にとても良く似ている。
それは命をはぐくむところだから。
その羊水の海の中で 遠い昔の海のリズムを聞いている。
流れる羊水の 繰り返しのリズムにゆられながら 母の心臓の鼓動を聞いている。

会期 2019年 3月1日(金)~5月26日(日)

40億年前に太古の海ではじめて発生した「いのち」は本当に夢のような奇跡でありました。そして長い時をかけて命たちは海から陸へ、地球上の至る所に広がり、今世界は多種多様な命で満ちています。「いのちの種」「いのちの卵」は母なる大地から生まれ育まれ、やがて大地に還りそこから新しい命が芽生えます。次々と新しい命が芽吹き、胎動するのはなんと嬉しく心躍ることでしょう。また力尽き大地の懐に還っていく命への再生の祈り。すべての命の源である母なる大地への深い畏敬の思いを作品にしました。大地が汚染されたり荒廃したりすることなく、たくさんの命を授け育てられるよう祈らずにはおれません。大自然の中ですべての命はつながっていて、ほかの生命に依存し、人もまたその循環の輪の中にいるのですから。(むらかみよしこ)

—作品『はじまりのいのちの物語』(羊毛手紡ぎ・草木染・手織作品250×253cm)

【開館時間】午前9:30 ~ 午後5:00
【休館日】月曜(祝日は開館・翌火曜休館)
【観覧料】一般400円/高校生200円
【アクセス】岡山から車で約90分
岡山空港から車で約70分
賀陽ICから車で約45分
新見ICから車で約30分
井倉駅からタクシーで約15分
方谷駅からタクシーで約10分

 猪風来美術館
新見市法曾陶芸館

〒719-2552 岡山県新見市法曾609

TEL・FAX 0867-75-2444

<http://www.ifurai.jp/>

縄文野焼き技法の第一人者であり、現代縄文アートの創始者として知られる造形作家・猪風来(いふうらい)。
猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)では縄文野焼き作品、法曾焼、絵画など、独自の縄文スパイラル造形による猪風来作品をはじめとした二百数十点を常設展示しております。

